

令和7年度 第1回市民参加推進会議 議事録

1. 開催日 令和7年6月13日(金) 午前10時00分～午前11時40分

2. 開催場所 浦安市役所10階 協働会議室

3. 出席者 (委員)関谷会長、野田副会長、友利委員、牧野委員、
相原委員、奥山委員、小島委員、川田委員、森島委員
(事務局)高柳部長、齋藤次長、大塚課長、飯塚係長、森主事

4. 議事次第

- (1) 市民参加推進会議の概要及び令和7年度会議開催スケジュールについて
- (2) 第3期市民参加推進計画について
- (3) 市民参加に関する事業の実施状況調査について
- (4) 第4期市民参加推進計画に係る市民意識調査報告について

5. 配布資料

(会議資料)

資料1-1-1 市民参加推進会議の役割

ー2 附属機関等の概要

ー3 令和7年度会議開催スケジュール

資料1-2-1 第3期市民参加推進計画(令和3年3月策定)の概要について

資料1-3-1 市民参加に関する事業の実施状況調査について(依頼)

資料1-4-1 第4期市民参加推進計画に係る市民意識調査報告について

参考 第3期市民参加推進計画

市民参加に関する意識調査報告書

6. 議事概要

<議題>

- (1) 市民参加推進会議の概要及び令和7年度会議開催スケジュールについて

■説明(事務局)

事務局より資料1-1について説明を行った。

■主な意見

委員：市民参加を適正に推進するとあるが、文字通り課題を改善していくのだとしたら、課題をどう把握しているのか、また、今までの課題があれば教えていただきたい。

事務局：市民参加を適正に推進するために、毎年度庁内で進捗状況を管理している。また、課題としては大きいところかというと市民活動団体の高齢化や会員の固定化、情報が十分に行き届いていないといったことがあげられる。そういった課題解決のために、現状の進捗状況を把握しながら、新たな対策を講じ、様々な取り組みを組み込んだ第４期市民参加推進計画の策定をしていきたいと考えている。

委員：体制図の中の市民活動センターは様々なジャンルの団体に対し、支援しているという認識でいいのか。

委員：高齢者福祉や文化的な団体、環境団体など様々なジャンルの団体に対し、登録制で印刷機の貸し出しやイベントの運営などを行っている。

（２）第３期市民参加推進計画について

■説明（事務局）

事務局より資料１－２について説明を行った。

■主な意見

委員：計画目標１の情報発信支援の充実について、先ほども情報発信に課題があるという話があったが、現在どのような情報発信を行っているのか。また、情報発信方法を学ぶ場の提供とあるが、具体的にどのような支援をしているのか。SNSもFacebookは高年齢層化しており、今はInstagramなどがメインだが、情報発信の充実をどのように捉え実践しているか。

事務局：市民活動団体の情報発信支援として、市民活動センターのホームページや登録制のメールマガジン、庁舎１階のデジタルサイネージで団体の情報を発信している。また、市民活動センターの事業で、団体向けに広報チラシの作成方法や、SNSの発信方法の講座を開催して、団体の情報発信支援に努めている。

委員：次回、計画の骨子案について検討する際に、前回までの市民参加推進会議で出た意見の集約があるとありがたい。また、今年度は第４期の計画を策定することが目標だが、任期は２年間あり、来年度の活動についてお聞きしたい。

事務局：毎年庁内に対して、計画の進捗状況の調査をし、進捗管理を実施しているところだが、第4期市民参加推進計画策定後も、引き続き計画の進捗管理を行い、課題となる部分を把握していく。来年度は第4期市民参加推進計画の進捗状況に対して意見をいただきたい。

(3) 市民参加に関する事業の実施状況調査について

■説明（事務局）

事務局より資料1－3について説明を行った。

■主な意見

委員：前は446事業のうち、4事業に対し深掘り調査を実施したと話があったが、どのような基準で4事業をピックアップしたのか。

事務局：令和5年度の新規事業の中から、継続して行われる4つの事業を深掘り対象として決定した。

(4) 第4期市民参加推進計画に係る市民意識調査報告について

■説明（事務局）

事務局より資料1－4について説明を行った。

■主な意見

委員：資料内の事業No.43の評価で参加者アンケートと記載があるので、実施して終わりではなく、参加した方の生の声を聞き取りすることで次年度に活かすことができるのではないかと。他の事業についてもアンケートなど生の声を吸い上げて次に活かすサイクルが行われていくと良いと思う。

委員：意識調査報告書について、電子とあるが、どのように行ったのか。高齢者は電子に疎い方もいるがどのような対応をしたか。

事務局：通知にQRコードを掲載して、そこからアクセスできるようにした。また、紙のアンケートでの回答を希望する方には郵送での対応をした。

委員：団体について、団体同士の交流を促進する仕組みづくりとあるが、団体が交流する場や情報交換を行う場は現在あるのか。

事務局：市民活動センターの登録団体に限られるが、年に1回開催されるまちづくりフェスタwithなどに参加することで横のつながりや情報交換が生まれる場は用意している。

委員：お互いの悩みや意見交換、団体同士が助け合えるようなネットワーク作りの場はあるのか。

事務局：昨年度いくつかの市民活動団体に対して、現状の課題や成果報告を共有できる場を設けた。今年度もそういった場の提供を予定している。

全ての議題及び会議の議事録については会長一任とすることを承認いただき会議を終了した。